

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

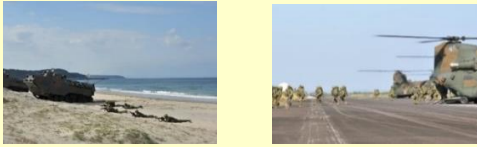
令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

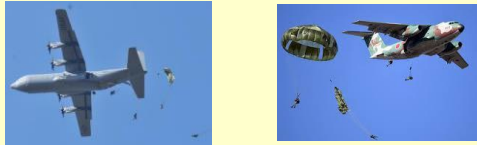
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信
- 重要施設等防護（基地警備等）



※ 訓練期間中、航空機の移動に伴う燃料給油のため、日米の航空機が海上自衛隊鹿屋航空基地、奄美空港及び種子島空港及び徳之島空港を使用する予定です。なお、陸上自衛隊の航空機に限り、奄美駐屯地及び瀬戸内分屯地も使用する予定です。

※ また、演習前後の期間において、自衛隊の航空機が鹿児島空港を利用します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 鹿児島県内における訓練について

本演習において鹿児島県内で実施する訓練は、

- ① 統合通信訓練
- ② 共同統合対艦戦闘、統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）
- ③ 水陸両用作戦（着上陸訓練）
- ④ 陸上作战（対着上陸戦闘訓練等、情報収集訓練、訓練準備等、協同対空戦闘訓練、統合強制進入作战（目標搜索訓練））
- ⑤ 統合電磁波作战訓練
- ⑥ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
- ⑦ 機動分散運用（大型機の一時展開）
- ⑧ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練、滑走路（被害）復旧訓練、立入検査訓練）

を予定しています。

なお、その他訓練を予定しておりますが調整中のため、整い次第追加する予定です。

鹿児島県内で実施を検討している訓練内容

④ 陸上作戦（協同対空戦闘訓練）

陸上自衛隊奄美駐屯地及び航空自衛隊沖永良部分屯基地においては、各種ミサイル・UAVの対処要領を演練するため、非実射による協同対空戦闘訓練を実施する計画です。

また、各訓練地域への装備品等の輸送のため、名瀬港、知名港、奄美空港及び沖永良部空港を使用する予定です。

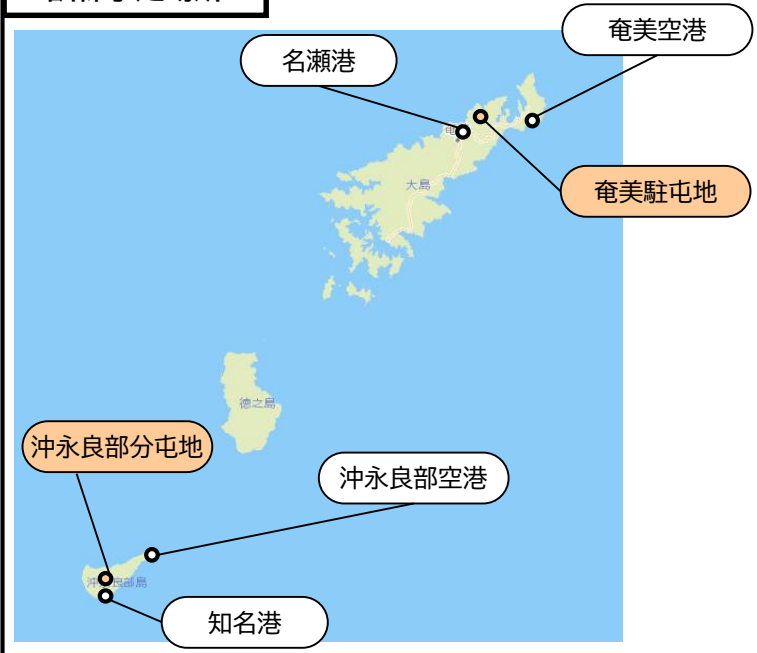
【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：約30名（高射教導隊、北部方面隊、東部方面隊、東部方面隊等、03式中距離地对空誘導弾等）

航空自衛隊：約30名（北部高射群、第11高射対、PAC-3）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

訓練予定場所



訓練イメージ



03式中距離地对空誘導弾



PAC-3

鹿児島県内で実施を検討している訓練内容

⑥ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

沖永良部島において、臨時の医療施設を開設し、傷病者の治療訓練を実施します。
また、沖永良部島分屯基地から那覇基地へ、回転翼を用いた後送訓練を実施します。

【期 間】令和8年10月16日（金）～10月29日（木）※日程調整中
【参加部隊】航空自衛隊：航空総隊 人員約30名、CH-47J

訓練予定場所

※治療訓練場所：知名町民体育館を検討中

沖永良部島



訓練イメージ



傷病者治療訓練



救急車を用いた後送訓練



回転翼を用いた後送訓練



鹿児島県内で実施を検討している訓練内容

⑧ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練）

喜界島及び沖永良部島においては、陸上自衛隊の部隊が自衛隊施設等に展開し、施設防護訓練を実施する計画です。

自衛隊施設内においては空包を使用し、夜間についても訓練を実施する計画です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊：第8師団等

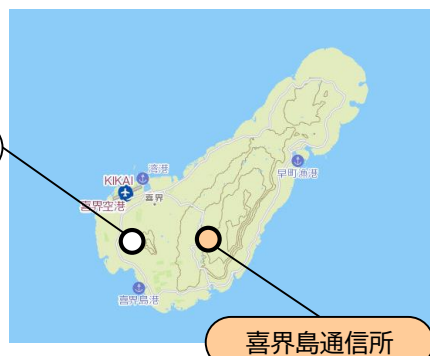
【訓練使用地域】 喜界島（約100名）、沖永良部島（約100名）

【訓練内容】 部隊展開、施設防護訓練

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のもの

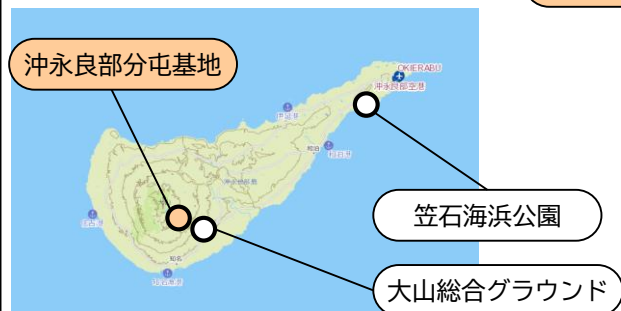
訓練予定場所

自然休養村管理センター



喜界島通信所

沖永良部分屯基地



笠石海浜公園

大山総合グラウンド

訓練イメージ



基地警備訓練



基地警備訓練